

第 21 回海外進出安全衛生情報交流会の開催結果概要

中央労働災害防止協会（中災防）は、令和 8 年 7 月 30 日（木） 13 時 00 分から 17 時 00 分に安全衛生総合会館 5 階研修会場で「第 21 回海外進出安全衛生情報交流会」を開催しました（出席者 41 名、また令和 8 年熊本地震の影響等によるキャンセルが 10 名）。中災防技術支援部長から開会の挨拶を行い、その後、以下のように 2 名の講師等による講演と情報交流会を行いました。また、安全衛生保護具等メーカー 5 社にご協力いただき、ミニ展示会も同時開催いたしました。

【講演 1】13:10～14:10（60 分）

「ベトナム現地法人における自律的な安全活動への成長～当たり前の一日を、当たり前に終えるために～」

講師：三谷産業(株) CSR 本部安心安全推進部 都平 祐浩氏

AUREOLE EXPERT INTEGRATORS INC. レー・トゥアン・ギィム 氏

本講演では、2014 年に同社で労働災害が複数発生したことを契機に安全活動を推進し、近年の労働災害防止に寄与した活動等をお話いただきました。労働災害の多くは、手順にない作業やトラブル対応などの「非定常作業」に発生しており、想定外の状況に対し、他者の指示に頼らず「自ら気づき、立ち止まり、安全な判断をする」こと（ベトナム現地の自律した安全活動）が不可欠であることが協調されました。

【講演 2】14:20～15:20（60 分）

「医療従事者目線からのベトナム労働安全衛生と最新のベトナムの医療事情」

講師：AGRIEX COMPANY LIMITED Medical 部門 幾島 章仁 氏

本講演では、歯科医師として「医療従事者目線」から、ベトナム人の口腔ケアと生産性の関係、生産性低下を招く「プレゼンティーズム」への対策、ベトナム人の労災補償の現状、そして現地の最新の医療事情についてご講演いただきました。

【情報交流会】15:45～17:00（75 分）

参加者同士によるグループワークでは、労働安全衛生に係る自社での好事例や課題、講演での気づきを自由に議論していただきました。各グループからは「主体的に考えられるマインド教育」、「労災報告のしやすい環境づくり」、「現地の風習、文化尊重」、「本音のコミュニケーション」の重要性などについて発表されました。

（アンケート結果）

交流会終了後、今回の交流会が参考になったかどうか尋ねた 4 段階評価のアンケートによると、「1.参考になった」が 65%、「2.まあまあ参考になった」が 32%でした（無回答を除く）。

第 21 回海外進出安全衛生情報交流会カリキュラム

(令和 8 年 7 月 30 日(木)実施)

時 間	時間 (分)	内 容
13:00	10	【開会挨拶】 中央労働災害防止協会 技術支援部長 オリエンテーション（事務局）
13:10	60	【講義 1】 「ベトナム現地法人における自律的な安全活動への成長 ～当たり前の一日を、当たり前に終えるために～」 三谷産業(株) CSR 本部安心安全推進部 都平 祐浩 氏 AUREOLE EXPERT INTEGRATORS INC. レー・トゥアン・ギム 氏
14:10	10	【出展者からの安全衛生保護具のご案内(休憩)】 ・アゼアス(株) 様
14:20	60	【講義 2】 「医療従事者目線からのベトナム労働安全衛生と 最新のベトナムの医療事情」 (株)HOLUS ベトナム現地法人 AGRIEX COMPANY LIMITED Medical 部門 歯科医 幾島 章仁 氏
15:20	25	【出展者からの安全衛生保護具のご案内(コーヒーブレーク)】 ・(株)トーアボージン 様 ・三徳コーポレーション(株) 様 ・(株)丸五 様 ・新コスモス電機(株) 様 コーヒー、お茶を手に最新の安全衛生保護具をご覧ください。 また、他の参加者様との自由な情報交流の場としてお役立てください。
15:45	75	【情報交流】 事務局からの説明 グループで自己紹介、役割分担の決定 グループ内での討議及び発表、コメント
17:00		講師や出展者、参加者間で自由にご交流いただけます。

(参考)

[開催案内](#)